

COMPETITION -- コンペティション部門

日本映画最新17作品一挙公開!

PFF AWARD 2011

上映後、来場監督とのトークを予定しています。

602作品の中から選ばれた17作品をご覧ください。監督の平均年齢は26歳という若さです。今の日本、世界が、これらヴィヴィッドな作品から強く迫ってくる必見作ばかり!

※監督の年齢は応募時のものです。

D 9月24日[土] 11:00—/28日[水] 11:00—

『untitled』 (19分/カラー) →→

天涯孤獨の心情を詩的に綴る

ひとりて休日過ごす女の子の1日。瑞々しい映像の19分間で浮き彫りになる彼女の想いに、胸を衝かれる。

岩永 洋 24歳 東京都出身



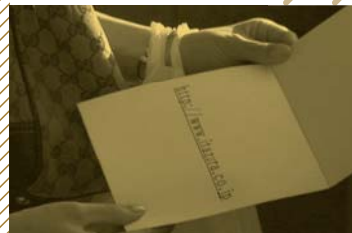
E 9月24日[土] 14:30—/27日[火] 14:30—

『101』 (30分/カラー) →→

いつも誰かに見られている恐怖

これぞ暗黒ドラえもん。すこしふしぎなデジタル機器が人の心の後ろ暗さを剥き出しにするワームSF。

酒巻 大樹 24歳 長野県出身



C 9月23日[金・祝] 11:00—/29日[木] 14:30—

『オードリー』 (67分/カラー) →→

地方の女子高生のリアルな青春

女子高生・優子の、恋に友達に文化祭。素直さと聞き直り、憧れとひねくれを堂々と貫いた、女子高生ものの一つの到達点。

勝又 悠 29歳 神奈川県出身



A 9月22日[木] 11:00—/28日[水] 18:15—

『偶像讃歌』 (35分/カラー) →→

他者に冷淡な青春の姿を活写

もう子供じゃない、まだ大人ではない『私』。どこか空虚な高校生活で『リアル』への手触りを模索した、ある夏の記憶。

和田 彩 24歳 東京都出身




F 9月25日[日] 11:00—/29日[木] 11:00—

『ケージ』 (57分/カラー) →→

貧困のスパイラルを生きること

東京の東側、取り壊し間近の団地。高度経済成長が現在に遺した影を淡々と描く、裏面の東京物語。

石井 慎吾 27歳 東京都出身



F 9月25日[日] 11:00—/29日[木] 11:00—

『春夏秋冬くるぐる』 (45分/カラー) →→

戻らない、かけがえのない毎日

ポコアパートに暮らす大学生と仲間との、ささやかな愛すべき日常。卒業を控え、それぞれに決意をしていく。

日原 進太郎 31歳 大阪府出身



H 9月25日[日] 18:00—/28日[水] 14:30—

『*(TAITO)』 (70分/カラー) →→

同僚の自殺で炙り出される内奥

類型的な正義と悪の境界で漂うだけに終わらず、本物の悪と醜悪を見逃すな! その正義は『善』なのか? 『悪』はどこだ?

緑 朗 27歳 愛知県出身




H 9月25日[日] 18:00—/28日[水] 14:30—

『ダムライフ』 (84分/カラー) →→

狂気と失笑と悲しみのダム、決壊す

虐げられた究極のイエスマンの暴走が止まらない! 人の心を逆撫でするハネケ的(?)アプローチが賛否を呼ぶ問題作。

北川 仁 29歳 東京都出身




F 9月25日[日] 11:00—/29日[木] 11:00—

『チョッキン堪忍袋』 (33分/カラー) →→

変形した愛をコミカルに描く

若き女性監督の異能が弾ける限界ギリギリの兄妹愛物語。許されない、でも断ち切れない。この想いの終着駅は?

天野 千尋 28歳 愛知県出身



E 9月24日[土] 14:30—/27日[火] 14:30—

『チルドレン』 (108分/カラー) →→

親がだめなほど子は成長する

親の人間の脆弱さに直面したとき、思春期の子がとるべき最善策とは? 家族幻想を超える瞬間が心を打つ青春映画。

武田 真悟 24歳 愛知県出身



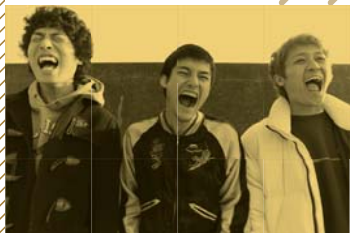
B 9月22日[木] 14:15—/27日[火] 18:00—

『ニュータウンの青春』 (95分/カラー) →→

大好きだった仲間との愛しき日々

団地・自転車・童貞——青春三大アイテムを軸に、定番のテーマを飽きさせずに物語る手腕はすでに、プロの域。

森岡 龍 23歳 東京都出身




A 9月22日[木] 11:00—/28日[水] 18:15—

『パッション』 (92分/カラー) →→

迫真の演技に戦慄が走る

これほど心揺さぶる家族の話がかつてあったか。愛情飢餓ゆえ切実に生きざるを得ない男の受難を、重厚な作劇で描く。

南部 充俊 34歳 神奈川県出身



D 9月24日[土] 11:00—/28日[水] 11:00—

『反芻』 (117分/カラー) →→

観客をも試す映画の実験

女の子1人と男の子2人。大事・どーでもいい・うそ・ほんと、とあやふやな意識の差異にひそむブラックホール

狩野 嵩大 24歳 群馬県出身



B 9月22日[木] 14:15—/27日[火] 18:00—

『PICARO』 (40分/カラー) →→

虐待を生き延びた兄妹の今に光を

絶望的な悲劇の底から生還した兄と妹。精緻な風景描写と演者の魅力に圧倒される、静かな再生の物語。

野上 鉄晃 28歳 長崎県出身



C 9月23日[金・祝] 11:00—/29日[木] 14:30—

『僕らの未来』 (75分/カラー) →→

私が私であることの勇気と光明

高校生の優は性同一性障害に苦しんでいた。困難な現実をどう受け止めるのか。主人公の選択に心が揺さぶられる。

飯塚 花笑 20歳 群馬県出身



G 9月25日[日] 14:30—/27日[火] 11:00—

『山犬』 (61分/カラー) →→

人間心理の暗闇に分け入る

疑心暗鬼が渦巻く森で一体何が起こったのか? 大胆で緻密な構成が、観るものの思考に巧みに揺さぶりをかける。

佐藤 孝太郎 22歳 埼玉県出身



G 9月25日[日] 14:30—/27日[火] 11:00—

『Recreation』 (78分/カラー) →→

高校生の夏、浸潤する不穏な熱気

盗撮から始まり衝撃の結末を迎えるこの映画、何が起らないわけがない、突き刺すような緊張感が全編を支配する。

永野 義弘 22歳 福岡県出身



「PFFアワード2011各賞」

グランプリ(副賞100万円)、準グランプリ(副賞20万円)、審査員特別賞(副賞10万円/3作品)、映画ファン賞(びあ映画生活賞)、エンタテインメント賞(ホリプロ賞)

※各賞とも兼賞可

グランプリ作品は、第24回東京国際映画祭「日本映画・ある視点」部門にて招待上映されます。

表彰式&グランプリ作品上映 → 9月30日[金] 16:30~

最終審査員 阿部 秀司(プロデューサー) 塚本 晋也(映画監督) 南 果歩(女優) 瀬々 敬久(映画監督) 瑛太(俳優)

TIME TABLE

★…ゲスト来場予定。開場は開演時間の15分前を予定。

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
9.20 [火]		12:00	ルビッチでハッピー! 『陽気な中尉さん』	14:00	ルビッチでハッピー! 特別上映『限りなき舗道』 『陽気な巴里っ子』				18:00	特別レビュー 石井裕也監督最新作 『ハラがコレなんだ』★	
9.21 [水]		12:00	タル・ペーラに痺れる 『サタンタンゴ』								
9.22 [木]	11:00	PFFアワードA★ 『パッション』 『偶像讃歌』		14:15	PFFアワードB★ 『ニュータウンの青春』 『PICARO』			17:30	塚本晋也、「何がなんでも黒澤明!」★ 参考上映作品『七人の侍』		
9.23 [金・祝]	11:00	PFFアワードC★ 『僕らの未来』 『オードリー』		14:30	岩井俊二、長谷川和彦に 映画を聞く!★ 『映画監督とは、映画製作とは』 参考上映作品『青春の蹉跎』			17:30	『太陽を盗んだ男』を観て、 長谷川和彦に聞く!★		
9.24 [土]	11:00	PFFアワードD★ 『反芻』 『untitled』		14:30	PFFアワードE★ 『チルドレン』 『101』 15:00 地階小ホールにて「カルト・ブランシュ」開催。「男と女」のテーマのもと、河瀬直美監督の選ぶ『生きてるうちが花なのよ死んだらそれまでが堂々宣言』を上映。聞き手:木下雄介監督			18:00	黒沢清、廣原暁に個人レッスンする!★ 『映画に風景をどう撮るか』 参考上映作品『シェイティーク・グローヴ』		
9.25 [日]	11:00	PFFアワードF★ 『ケージ』 『春夏秋冬くるぐる』 『チョッキン堪忍袋』		14:30	PFFアワードG★ 『Recreation』 『山犬』			18:00	PFFアワードH★ 『タムライフ』 『*(TAITO)』		
9.26 [月]	休 館										
9.27 [火]	11:00	PFFアワードG★ 『Recreation』 『山犬』		14:30	PFFアワードE★ 『チルドレン』 『101』			18:00	PFFアワードB★ 『ニュータウンの青春』 『PICARO』		
9.28 [水]	11:00	PFFアワードD★ 『反芻』 『untitled』		14:30	PFFアワードH★ 『タムライフ』 『*(TAITO)』			18:15	PFFアワードA★ 『パッション』 『偶像讃歌』		
9.29 [木]	11:00	PFFアワードF★ 『ケージ』 『春夏秋冬くるぐる』 『チョッキン堪忍袋』		14:30	PFFアワードC★ 『僕らの未来』 『オードリー』			18:30	第21回PFFスカラシップ作品 お披露目★ 『恋に至る病』		
9.30 [金]							16:30	PFFアワード2011表彰式 グランプリ作品上映			

入場料一覧

お得で安心な前売券のご購入をおすすめします。前売券はチケットぴあのみ発売です。フィルムセンター窓口での前売券販売はございません。

8月20日[土] 発売開始

全席指定 定員310名

コンペティション部門

「PFFアワード2011」専用チケット (Pコード: 558-323)

前売券: 1,000円 当日券 一般: 1,200円 大学・高校生・シニア(65歳以上): 1,100円 小・中学生: 800円 障害者・障害者付添者: 500円 キャンパスメンバーズ: 950円

第21回PFFスカラシップ作品

『恋に至る病』(Pコード: 558-325)

前売券: 1,300円 当日券 一般: 1,500円 大学・高校生・シニア(65歳以上): 1,400円 小・中学生: 1,100円 障害者・障害者付添者: 500円 キャンパスメンバーズ: 1,250円

招待作品部門 (Pコード: 558-326)

前売券: 1,300円 当日券 一般: 1,500円 大学・高校生・シニア(65歳以上): 1,400円 小・中学生: 1,100円 障害者・障害者付添者: 500円 キャンパスメンバーズ: 1,250円

「PFFアワード2011」表彰式&グランプリ 上映チケット (Pコード: 558-324)

前売券: 1,000円 当日券 一般: 1,200円 大学・高校生・シニア(65歳以上): 1,100円 小・中学生: 800円 障害者・障害者付添者: 500円 キャンパスメンバーズ: 950円

〔前売券の購入方法〕 ※フィルムセンター窓口での販売はございません。
○お近くのチケットぴあのお店(店舗の検索はこちら http://ticket-search.pia.jp/pia/spst_map0.do)で直接購入
○サークルK・サンクスで直接購入 ○セブンイレブンで直接購入
○インターネット(<http://t.pia.jp/cinema/>)にて購入
○チケットぴあにて電話予約後(チケットぴあ音声認識予約:0570-02-9999)
びあのお店、サークルK・サンクス、セブンイレブンで受け取り
〔指定席について〕
○全席指定です。
○「前方」中央「後方」のいずれかを選んでご購入いただけますが、ご希望に添えない場合がございます。
○上映開始後はお手持ちのチケットの席にご案内できない場合がございます。お時間に余裕を持ってお越しください。
※前売券は一般のみ。前売券の電話予約は各上映日の5日前まで、直接購入は各上映日の2日前までとなります。前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

〔当日券について〕
○当日券は、各回1名につき1枚販売いたします。
○当日券(当日、当該枠のみ有効)は、会場受付にて各回上映30分前から開映時刻まで販売します。
○開映後の当日券の販売はいたしません(前売券をお持ちの方に限り途中入場可)。
○当日券の有無は、各上映の前日にフィルムセンターのホームページ(<http://www.momat.go.jp/>)で確認することができます。
○学生・シニア(65歳以上)、障害者の方は証明できるものをご提示ください。
○障害者付添者は原則1名まで障害者と同一料金でご入場いただけます。
○「びあカード」のご提示により、一般の当日料金が割引になります。
○国立美術館キャンパスメンバーズの方は、学生証・職員証のご提示により当日料金が割引になります。